

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会教育課社会教育担当				
事務事業名	青少年相談室管理運営経費	事業番号	185		
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	児童・生徒、保護者、地域住民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	青少年の健全な育成を助長することを目的とし、青少年に関係ある各機関及び団体が連絡協調を図りながら、有効適切な指導、助言等を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	非行や登校拒否(不登校)、いじめ、自殺などの悩みや苦しみなどから青少年を救うことができる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 年間街頭補導活動実施回数	15回	15回	15回	15回	15回	15回	15回	15回
2								
3								
4								
事業費 (=下記内訳計)		H30予算			H30決算		H31予算	
		3,169			2,972		3,524	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	5			0		6	
	一般財源	3,164			2,972		3,518	
人員(人工)		0.17			0.17		0.17	
職員人件費 (=人員(人工) × 7,679 千円)		1,305			1,305		1,305	
総事業費 (=事業費+職員人件費)		4,474			4,277		4,829	
単位コスト実績値 1 (=総事業費 ÷ 成果実績値)		298			285			
単位コスト実績値 2 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	近年、各家庭において急速に普及したSNS関連に起因する生活習慣の乱れや、個人情報の漏洩によるいじめ、不登校など、新たな青少年問題が多く発生しており、そうした問題に対して柔軟かつ適切に対応できるよう、青少年健全育成に関する会議の中で議題として取り組むとともに、家庭、地域、学校や関係機関との情報交換や連携強化を図っている。
今後の動向・市民ニーズなど	根室市青少年相談室は、青少年に関する問題等について、専門的な知識・経験を持つ相談員が常駐する市内で唯一の相談室であり、また、根室の未来の担い手である青少年の健全育成は市民全ての願いであり、本事業はそれを目的としていることから、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	いじめ、家庭内暴力、学業不振など、青少年が抱える悩みや問題等を解決するため、家庭、学校及び関係機関と連携しながら相談や指導を行い、相談室が青少年や保護者の心のセーフティネットとして機能することにより、青少年の健全育成が図られている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 青少年相談は、保護者、学校、公共機関及び関係団体等との連携協力や情報交換などが必要不可欠であり、個人情報保護の観点から市が実施すべきと考える。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 近年の急速な生活環境の変化により、青少年が抱える問題も多様化していることから、本人、家庭及び学校等に対して、その状況にあった適切な相談や指導が行える体制づくりを継続していくことが必要と考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事業費を最大限に圧縮し予算計上していることから、これ以上のコスト削減は難しいが、状況に応じた効率的且つ効果的な事業の実施を引き続き図っていききたいと考えている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は青少年の悩み等の相談業務が主体であり、その目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 家庭、学校及び関係機関と連携し青少年健全育成を推進しており、また、公的機関が実施する相談業務等について、手数料を徴することは馴染まないことから、公費で実施することが適切であると考ええる。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会教育課社会教育担当			
事務事業名	放課後教室管理運営経費	事業番号	372	
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分
				<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の児童
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営及び放課後子どもプラン事業の実施により、学校や地域の協力を得ながら、放課後等における児童への遊びや生活の場を提供するとともに、健全育成に必要な学習や活動等を実施している。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	保護者の就労や疾病、介護等により、昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、全ての児童が放課後等に安心・安全な居場所を得られるほか、様々な体験活動や交流活動等をとって発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となることから、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣が確立され、子どもの健全育成が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 地域ボランティア人数	4人	4人	3人	3人	4人		10人	10人
2 放課後教室における実施事業数	101回	101回	101回	118回	134回		110回	110回
3 放課後教室における実施事業参加者数	4,589人	4,589人	4,331人	5,512人	5,810人		5,000人	5,000人
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
		79,975		69,857		83,799		
内訳	国道支出金	20,506		20,417		23,119		
	地方債							
	その他	176		138		183		
	一般財源	59,293		49,302		60,497		
人員(人工)		2.00		2.00		2.00		
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		15,358		15,358		15,358		
総事業費(=事業費+職員人件費)		95,333		85,215		99,157		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		23,833		21,304				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		711		635				
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)		16		14				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	留守家庭児童会等の入会児童及び支援を要する児童の利用増加や慢性的な指導員不足などの課題が生じていることから、登録児童の定員や指導員の配置等について適正化を図り、拡充や合理化など必要に応じた対応を実施しているが、今後も児童の利用状況等を見ながら、引き続き適正な対応を検討していきたい。
今後の動向・市民ニーズなど	子育て世帯の核家族化や共働き世帯・ひとり親世帯が増加しているほか、ワークライフバランスや働き方改革等の推進により、子を持つ保護者からのニーズがさらに高まっていることから、留守家庭児童会等や放課後教室等の利用増加は、今後も継続すると考えられる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	少子化や核家族化、地域の遊び場の減少等により、子どもたちをとりまく教育環境が変化している中で、本事業は子どもたちの心身の健康増進や情操を豊かにし、また、保護者が安心して働ける環境づくりにも寄与していることから、家庭と仕事の両立が必要な子育て世帯への支援につながっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 本事業は、放課後等における子どもたちの安心・安全な居場所作りや健全育成を目的としており、家庭をはじめ、学校や関係機関との連携が不可欠であるため、外部委託は馴染まないが、制度上は可能であり、他の地域では外部委託を実施している自治体もあることから、今後検討していきたいと考えている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 少子化により対象児童が減少する一方で、留守家庭児童会等の入会児童数や放課後教室等の利用児童数が増加していることから、入会児童の定員数、指導員の配置数及び活動スペースの確保等について適正な見直しが必要であると考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 留守家庭児童会の入会児童数や放課後教室等の利用児童数の増加に伴い、管理運営経費も増加しており、コスト削減は現状厳しいが、創意工夫をもって効率的かつ効果的な事業の実施を図ってきたい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 放課後児童健全育成事業に関する事業と類似する事業がないことから、他の事業との結合は難しい。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 放課後教室等で実施する行事の経費を一部負担いただいておりますが、子ども・子育て支援事業計画の基本理念に基づき、これ以上の負担は求めるべきでないと考えています。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会教育課社会教育担当		
事務事業名	子どもの社会教育参加促進事業	事業番号	12378
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	幼児(3歳以上)、小学生
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内の子どもたち(3歳以上の幼児及び小学生)を対象に、市内で開催される社会教育関係をはじめとした各種事業への参加や市内外の社会教育施設の見学を奨励し、子どもたちが学ぶ力や考える力、変化に対応した生き抜く力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を身につけるよう、本事業を実施している。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	各種社会教育関係事業の内容に応じて参加した子どもたちにポイントを付与し、一定のポイント数により称号を授与することにより、社会教育関係事業等への参加促進が図られ、ひいては子どもたちが将来に向けて必要となる社会的自立や社会への積極的な参加が促進される。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)	
		H27	H28	H29	H30	H31			
1 わんぱくチャレンジ対象事業件数	484件	484件	483件	502件	471件		500件	500件	
2 わんぱくチャレンジ認定者数(延べ数)	105人	105人	79人	58人	38人		110人	110人	
3									
4									
事業費(=下記内訳計)		H30予算			H30決算		H31予算		
		240			203		240		
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他							240	
	一般財源	240			203		0		
人員(人工)		0.17			0.17		0.17		
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		1,305			1,305		1,305		
総事業費(=事業費+職員人件費)		1,545			1,508		1,545		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		3			3				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		40			39				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	本事業は、根室の将来を担う子どもたちが人間性や社会性を育むうえで重要な体験活動や各種施設見学に積極的に参加する動機づけとなっており、また、そうした活動をとおり、家庭だけでなく地域の方々とのコミュニケーションも図られていることから、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない スポーツ・文化・学習をはじめとした様々な体験活動に参加した子どもは、保育所、幼稚園、小学校の集会等の場で参加回数に応じた称号が授与されることから、本人はもとより、他の子ども達の社会教育事業への参加意欲の向上につながっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 公共機関、学校、地域団体など、公共公益関係との連携協力が不可欠の事業であるため、外部委託は馴染まない。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 少子化や人口減少の影響により子どもたちの数が減少し、また、SNS関連の普及により子どもたちが屋内にこもりがちになつとおり、当事業への参加者数が減少傾向にあるが、効果的なPRや魅力的な対象事業の掘り起こしなど、子どもたちの参加意識を高揚させ、参加率及び参加数を高める取組みが必要であると考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事業費を最大限に圧縮し予算計上していることから、これ以上のコスト削減は難しいが、状況に応じた効率的且つ効果的な事業の実施を引き続き図っていきたいと考えている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業の目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 本事業は子どもたちの社会教育関係事業をはじめとした、様々な体験・学習活動等への参加促進を目的としていることから、その性質上費用を負担を求めることは望ましくない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	社会教育課社会教育担当		
事務事業名	子育て環境整備事業(児童小公園)	事業番号	12269
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の子どもたち
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内各町会が管理・運営している児童小公園に設置した遊具について、修繕、撤去及び新設などの整備を行い、子どもたちの安全な遊び場の確保を図る。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	子どもたちの児童小公園の利用が促進し、屋外で遊ぶ子どもたちの心身の健全育成が図られるとともに、町会などと連携した地域による子育ても進むことから、地域コミュニティの活性化が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 児童小公園内の遊具の整備数(修繕)	—	—	—	—	14基	/	18基	—
2 児童小公園内の遊具の整備数(新設)	—	—	—	—	0基	/	6基	—
3						/		
4						/		
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は1-3で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費 (=人員(人工) × 7,679 千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								
単位コスト実績値 2 (=総事業費 ÷ 成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	遊具の整備については、市内13ヶ所の児童小公園に設置している遊具の中で、整備が必要なものから計画的に修繕等を行っているが、遊具の状態や公園の状況によっては整備の優先順位を変更するなど、整備計画を見直す必要もあると考えている。
今後の動向・市民ニーズなど	少子化や地域コミュニティの停滞が社会問題となっている中、地域に根ざした児童小公園の整備は子どもたちに安全な遊びの場を提供するとともに、地域による子育てや地域コミュニティの活性化につながることから、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 子どもたちが屋外で遊ぶ機会が減少している今日において、児童小公園整備は安心・安全な遊びの場を提供し、子どもたちが屋外で健全に遊ぶきっかけづくりとなっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 児童小公園に設置している遊具は市が維持管理しているため、市が実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 市内13ヶ所の児童小公園において、遊具を31基設置しており、修繕が必要なものから計画的に整備を行っているが、遊具の状態や公園の状況等によっては整備の優先順位を一部変更する必要もあると考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 各公園に設置している遊具について、日頃からの点検強化、状態把握の徹底及び効果的な小破修繕等により、良好な状態を維持できることから、整備に係る費用の抑制が図られる。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業の目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 市が維持管理する遊具は、多くの市民が利用する公園に設置されており、当該遊具の設置目的や性質上、費用負担を求めるときではないと考える。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定あり (R4年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月